

わくわく無限大！
個性いろいろ
ともに創る
驚きの未来。

2023年2月期第1四半期決算 (補足説明資料)

2022年7月14日

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
【東証プライム 証券コード3387】

目次

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]
2. 店舗の営業状況及び実質既存店2020年2月期(コロナ前)比について
3. 業績の概要(カテゴリー別)
4. トピックス①②

II. 2023年2月期業績予想

1. 2023年2月期通期業績予想の概要

III. Appendix

1. 出退店及び店舗数について
2. 実質既存店2020年2月期(コロナ前)比の推移
3. 財務状況について
4. サステナビリティへの取り組み①②
5. 2023年2月期通期業績予想の概要(カテゴリー別)
6. 株主還元について

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]

売上収益:262億円、営業利益:52億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益34億円、調整後EBITDA93億円

✓売上収益について

- ・ほぼ目標通りに順調に推移(目標比+1億円、通期予想に対する進捗率は22.8%)
- ・2022年1月より適用されていたまん延防止等重点措置が3月21日に解除
→実質既存店2020年2月期(コロナ前)比※1は、概ね目標通りの68.7%(1Q累計)

※1:実質既存店2020年2月期(コロナ前)比

	3月	4月	5月	1Q累計
目標	55.6%	73.6%	78.5%	68.9%
実績	57.0%	71.5%	78.4%	68.7%

✓営業利益について

- ・筋肉質なコスト構造の維持・継続により、原価・人件費等は想定範囲にて推移
- ・協力金・雇用調整助成金等が想定よりも上振れしたことにより、目標比+11億円

	2022年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期		2023年2月期 第1四半期		目標値 差異	2023年2月期		進捗率	
	(単位:百万円)	実績	売上比	実績	売上比	目標値※3		売上比	通期予想		売上比
売上収益		17,740		26,243		26,122		+121	115,000	22.8%	
営業利益		1,520	8.6%	5,166	19.7%	4,086	15.6%	+1,080	7,300	6.3%	70.8%
税引前利益		1,461	8.2%	5,130	19.5%	3,943	15.1%	+1,186	6,800	5.9%	75.5%
当期利益		1,068	6.0%	3,873	14.8%	2,794	10.7%	+1,078	5,100	4.4%	75.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益		1,067	6.0%	3,422	13.0%	2,493	9.5%	+928	4,500	3.9%	76.1%
調整後EBITDA ※2		5,562	31.4%	9,294	35.4%	8,339	31.9%	+954	24,700	21.5%	37.6%

※1:実質既存店2020年2月期(コロナ前)比は、コロナ禍前の2020年2月期の数値を用いて、且つ休業店舗も含めて算出しています

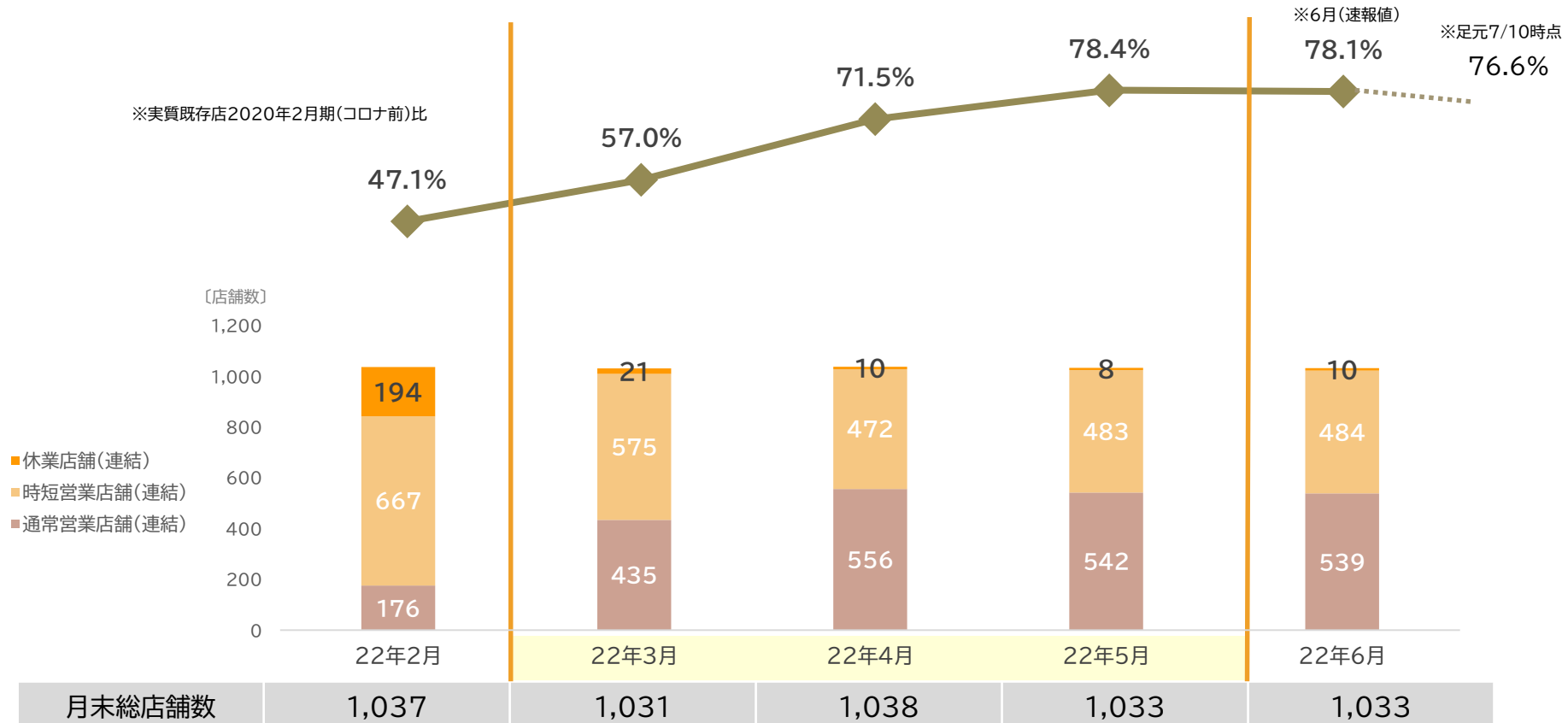
※2:調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金、協力金及び賃料減免分等を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

※3:2023年2月期第1四半期(目標値)については、社内における目標値です

2.店舗の営業状況及び実質既存店2020年2月期(コロナ前)比について

- ・3/21をもってまん延防止等重点措置が解除されたことを受け、休業店舗の多くが営業を再開
(営業店舗の総店舗数に占める割合:まん延防止等重点措置期間中81%→解除後98%)
- ・実質既存店2020年2月期(コロナ前)比は、順調に70%後半台に回復

まん延防止等重点措置期間(~3/21まで)

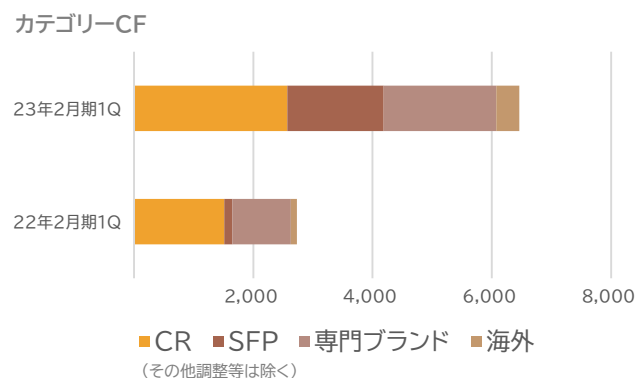
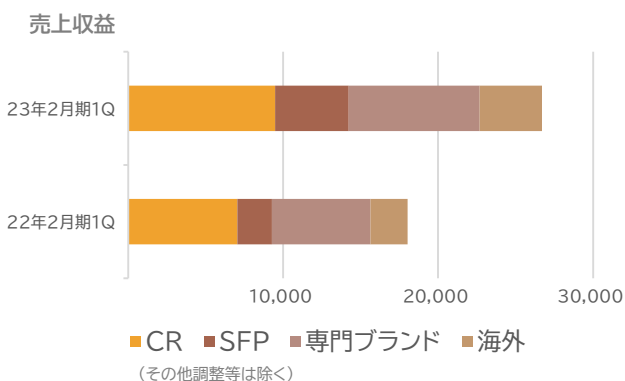


※実質既存店2020年2月期(コロナ前)比の定義について

コロナ禍前の2020年2月期以前に出店した店舗を比較対象とし、期間中休業した店舗も含めて算出

3.業績の概要(カテゴリー別)

・すべてのカテゴリーにおいて、前期1Qと比べ、売上収益及びカテゴリーCFが増加
 ⇒特にSFPカテゴリーは、多くの休業店舗が3/22以降営業再開したことにより、売上収益が倍増



実質既存店2020年2月期(コロナ前)比

カテゴリー	3月	4月	5月	1Q	6月 (速報値)	足元 (7/10時点)
CR	59.6%	67.9%	74.3%	67.1%	69.7%	70.6%
SFP	29.2%	63.9%	71.8%	54.7%	73.3%	72.5%
専門ブランド	61.2%	70.7%	79.3%	70.1%	78.2%	78.2%
海外	89.3%	104.1%	103.5%	100.7%	112.7%	103.7%
連結	57.0%	71.5%	78.4%	68.7%	78.1%	76.6%

(単位:百万円)

カテゴリー	2022年2月期1Q			2023年2月期1Q			差異		
	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比
CR	7,033	1,509	21.5%	9,478	2,572	27.1%	+2,444	+1,063	+5.7%
SFP	2,229	139	6.3%	4,626	1,630	35.3%	+2,397	+1,491	+29.0%
専門ブランド	6,374	979	15.4%	8,437	1,925	22.8%	+2,062	+945	+7.5%
海外	2,401	101	4.2%	4,085	387	9.5%	+1,684	+285	+5.2%
その他調整等※1	△298	2,831	-	△383	2,778	-	△85	△53	-
合計	17,740	5,562	31.4%	26,243	9,294	35.4%	+8,503	+3,732	+4.1%

※1: その他調整等は、IFRS16号適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等であります

※2: カテゴリーCF=営業利益(日本基準)+減価償却費+のれん償却費+協賛金収入+非経常的費用項目+期間対応収益項目(雇用調整助成金及び協力金等)

4.トピックス①-再成長期初年度における新規出店の再開-

コントラクト事業の強化

NEW

✓ゴルフ場レストラン

新規3件受託(4/1)

- ・JOYXゴルフ倶楽部上月コース@兵庫
- ・芳賀カントリークラブ@栃木
- ・札幌北広島ゴルフ倶楽部@北海道



NEW

✓JA全農とのコラボ

新規3件受託

- ・みのりカフェ@長崎
- ・銀河離宮@岩手
- ・長崎和牛焼肉ぴゅあ@長崎



・みのりカフェ@長崎(3/18)



・銀河離宮@岩手(5/1)



・長崎和牛焼肉ぴゅあ(6/1)

4.トピックス②-再成長期初年度における新規出店の再開-

SA/PA事業の強化

NEW



・龍野西サービスエリア(下り)居抜き出店(4/1)



NEW



・道の駅シーサイド高浜@福井を業務受託(4/1)



投資効率やSDGsに配慮した新規出店

NEW



・OSTERIA del Fornaio@北米サンタモニカ
・既存店舗とは異なるビルイン型(4/26)

NEW



・あずさ珈琲@大阪ドームシティ
・既存の「かごの屋」店舗並びに居抜き出店(6/22)

NEW



・しゃぶ菜@大阪らぽーとEXPOCITY
居抜き出店(7/1)

NEW



・EVERYONE'S CAFÉ@上野恩賜公園内
・SDGsを意識し環境に配慮した店舗に改装
(7/13)

Ⅱ. 2023年2月期業績予想

1. 2023年2月期通期業績予想の概要

✓ 2022年4月14日開示の通期業績予想 ⇒ **変更なし**

新たな変異株の感染拡大の懸念など、足元で不安定な状況が継続していることもあり、通期予想は据え置き

売上収益:1,150億円、営業利益:73億円、親会社の所有者に帰属する当期利益45億円、調整後EBITDA: 247億円

	2023年2月期 (通期)		2023年2月期 (第1四半期)		進捗率	
	(単位:百万円)	予 想	売 上 比	実 績		売 上 比
売上収益		115,000		26,243	+22.8%	
営業利益		7,300	6.3%	5,166	19.7%	+70.8%
税引前利益		6,800	5.9%	5,130	19.5%	+75.5%
当期利益		5,100	4.4%	3,873	14.8%	+75.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益		4,500	3.9%	3,422	13.0%	+76.1%
調整後EBITDA※		24,700	21.5%	9,294	35.4%	+37.6%

※調整後EBITDA＝営業利益＋その他の営業費用－その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金、協力金及び賃料減免分等を除く)＋減価償却費＋非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

III. Appendix

1. 出退店及び店舗数について

➤ 新規出店10店舗、退店14店舗、業態変更9店舗
⇒2022年5月末グループ総店舗数:1,033店舗

・新規出店(10店舗)の主な内訳

ゴルフ場内レストランの新規業務受託(3店舗)

JA全農とのコラボによる出店(「みのりカフェ」長崎/「銀河離宮」岩手)、道の駅やサービスエリア等にも出店
海外⇒米国サンタモニカに「OSTERIA del Fornaio」/タイに「かごの屋」のFC

・不採算店舗及び契約満了に伴う退店(14店舗)

・立地環境や顧客ニーズに合わせ、業態変更を実施(9店舗)

「鳥良」を「おもてなしとりよし」へ/ネオ大衆酒場(「浜焼きドラゴン」「鳥平ちゃん」)へ

・グループ内移管を積極的に実施(10店舗)

事業会社間の垣根を超えて、グループとして最大のパフォーマンスを出せる体制へ(ハマチカ@シャル横浜)

【2023年2月期1Q 出退店一覧】

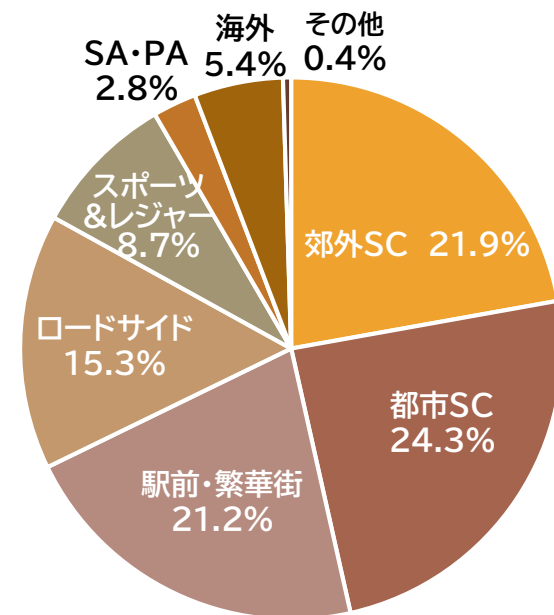
カテゴリー	2022年 2月末 店舗数	増減数		グループ内 移管	2022年 5月末 店舗数	業態 変更 ※1
		出店	退店			
CR	526	3	9	+5	525	0
SFP	215	0	2		213	9
専門ブランド	241	5	2	△5	239	0
海外※2	55	2	1		56	0
グループ 総店舗数※3	1,037	10	14	+0	1,033	9

※1:グループ内における業態変更も含めた店舗数を記載しております

※2:海外カテゴリーの店舗数には、LGEW社のジャカルタにおけるFC2店舗及びKR社のタイにおけるFC12店舗を含んでおります

※3:本資料上における期末店舗数は、2022年5月末時点での業務受託店舗、FC店舗を含むグループ総店舗数を記載しております

【立地別店舗数の構成比(2022年5月末時点)】



2. 実質既存店2020年2月期(コロナ前)比の推移

【連結】

	3月	4月	5月	1Q累計	6月 (速報値)	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
2023年2月期 実質既存店コロナ前比※	57.0%	71.5%	78.4%	68.7%	78.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2022年2月期 実質既存店コロナ前比※	51.9%	47.6%	35.5%	45.1%	42.2%	51.0%	38.3%	44.4%	40.5%	65.5%	74.1%	49.4%	74.9%	58.1%	47.1%	52.7%

【カテゴリー別】

	3月	4月	5月	1Q累計	6月 (速報値)	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月	1月	2月	通期計
CR	2023年2月期 実質既存店コロナ前比	59.6%	67.9%	74.3%	67.1%	69.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022年2月期 実質既存店コロナ前比	55.5%	50.4%	37.4%	47.8%	42.5%	55.5%	42.6%	47.2%	44.8%	69.5%	71.0%	51.8%	75.4%	61.8%	53.9%
SFP	2023年2月期 実質既存店コロナ前比	29.2%	63.9%	71.8%	54.7%	73.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022年2月期 実質既存店コロナ前比	36.5%	30.2%	7.1%	24.6%	14.7%	16.4%	5.4%	18.3%	5.3%	40.4%	68.2%	24.8%	67.7%	42.9%	12.0%
専門 ブランド	2023年2月期 実質既存店コロナ前比	61.2%	70.7%	79.3%	70.1%	78.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022年2月期 実質既存店コロナ前比	59.4%	52.9%	45.6%	52.8%	50.9%	62.5%	45.3%	52.6%	47.3%	74.3%	75.7%	56.7%	73.4%	62.0%	52.1%
海外	2023年2月期 実質既存店コロナ前比	89.3%	104.1%	103.5%	100.7%	112.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2022年2月期 実質既存店コロナ前比	50.0%	61.3%	63.5%	58.1%	75.1%	85.5%	77.2%	69.1%	82.6%	86.1%	94.6%	75.8%	89.6%	71.1%	86.0%

※コロナ禍前の2020年2月期以前に出店した店舗を対象とし、且つ期間中休業した店舗も含めて算出しています

3. 財務状況について

主要指標	2022年2月末	2022年5月末	差異
資産合計(百万円)	133,605	137,572	+3,967
負債合計(百万円)	102,874	102,953	+79
資本合計(百万円)	30,730	34,619	+3,889
自己資本比率 (親会社所有者帰属持分比率)	17.8%	19.9%	+2.1%
調整後自己資本比率※1	28.0%	30.2%	+2.2%
ネットD/Eレシオ	2.65倍	2.15倍	△0.5倍
調整後ネットD/Eレシオ※2	0.79倍	0.57倍	△0.22倍

※1:調整後自己資本比率:自己資本比率(親会社所有者帰属持分比率)からIFRS16号の影響を除外した比率

※2:調整後ネットD/Eレシオ:ネットD/EレシオからIFRS16号の影響を除外した倍率

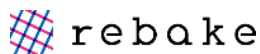
4.サステナビリティへの取り組み①

具体的な取り組み事例

Environment(環境)

食品ロス削減

- ジャン・フランソワ全7店舗で、フードシェアリングアプリ「TABETE」を導入
⇒店舗でのロス削減に組み込み
- パンの通販サイト「rebake」を通じて全国にロスを販売



- 自治体のフードロスの取り組みに参加



- 使用済み油(廃油)のリサイクル

産地連携・地産地消

- 地産地消の取り組みを推進
⇒食の安心安全や地域貢献
⇒輸送にかかるCO2排出量削減
- 「畑の日」など、産地・農家との交流
- 地産地消を意識したご当地メニューの開発



環境保全・ヘルシーフード

- ビーガンメニューや植物由来のチーズ、大豆ミートの活用
- 低糖質パンの拡充、発芽玄米・ふすま等を活用したベーカリーメニューの考案
- アニマルウェルフェアに則った飼育方法で管理された食材使用への取り組み



プラスチックごみ削減

- バイオマス原料レジ袋の使用
- プラストローの使用抑制
- スプーン・フォーク・マドラー、ストロー等をバイオマス素材や紙製・木製に変更



4.サステナビリティへの取り組み②

具体的な取り組み事例

Social(社会)

地域との交流

- Mr. FARMER駒沢オリンピック公園店やAWキッチン鎌倉店でファーマーズマーケットを開催
- 野菜収穫体験イベント、近隣専門学校とコラボしたドックフード作りイベントなどを開催



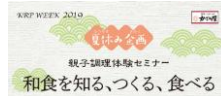
• いのちのミュージックデー(北海道)への協賛



- 店舗周辺清掃活動の実施
- 地元農家における農業体験

食育

- 「和食・しゃぶしゃぶ かごの屋」京都で小学生以上のお子様と保護者を対象とした「親子調理体験セミナー」を開催
- 地元の小学校(本社:品川区)への食育活動
⇒地域に根付いた食育の場を提供



- 特別支援学校生に対して、店舗の体験実習を実施(かごの屋)
- こども食堂の運営協力・寄付(遊鶴)

ダイバーシティの推進

- 女性社員、女性管理職の積極採用
- 外国人雇用の推進、教育環境の拡充
- 多様な勤務形態の利用促進
→地域限定社員
→定年の年齢(クルー)を70歳まで延長
- わくわくする職場作り
→社員フォーラムやクルーフェス開催
- ジェンダーレスユニフォームを採用

Governance(ガバナンス)

プライム市場への移行

- 2022年4月4日プライム市場へ移行
⇒より高いガバナンス水準
⇒中長期的な企業価値向上

体制・機能の強化

- 取締役会機能強化
- 取締役会実効性評価
- グループガバナンス体制
- 開示体制
- コンプライアンス体制
- リスクマネジメント体制



体制/機能の強化

- 社外取締役の増員
⇒2名体制から3名体制へ(社外取締役が1/3以上へ)
- 社外取締役の多様性
⇒社外取締役に女性を登用
- 指名・報酬委員会の設置
⇒社外取締役の比率を過半数以上に
- 譲渡制限付株式報酬制度(RS)の導入

5. 2023年2月期通期業績予想の概要(カテゴリー別)

※再掲:2022年4月14日開示済み内容から変更なし

カテゴリー	2022年2月期 (前期実績)			2023年2月期 (通期予想)			差異		
	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比	売上収益	カテゴリーCF	売上比
CR	30,098	7,812	26.0%	40,500	5,600	13.8%	+10,402	△2,212	△12.1%
SFP	10,404	3,195	30.7%	24,500	3,000	12.2%	+14,096	△195	△18.5%
専門ブランド	26,772	4,598	17.2%	36,600	4,400	12.0%	+9,828	△198	△5.2%
海外	12,340	842	6.8%	15,000	1,200	8.0%	+2,660	+358	+1.2%
その他調整等	△1,291	10,639	-	△1,600	10,500	-	△309	△139	-
合計	78,324	27,088	34.6%	115,000	24,700	21.5%	+36,676	△2,388	△13.1%

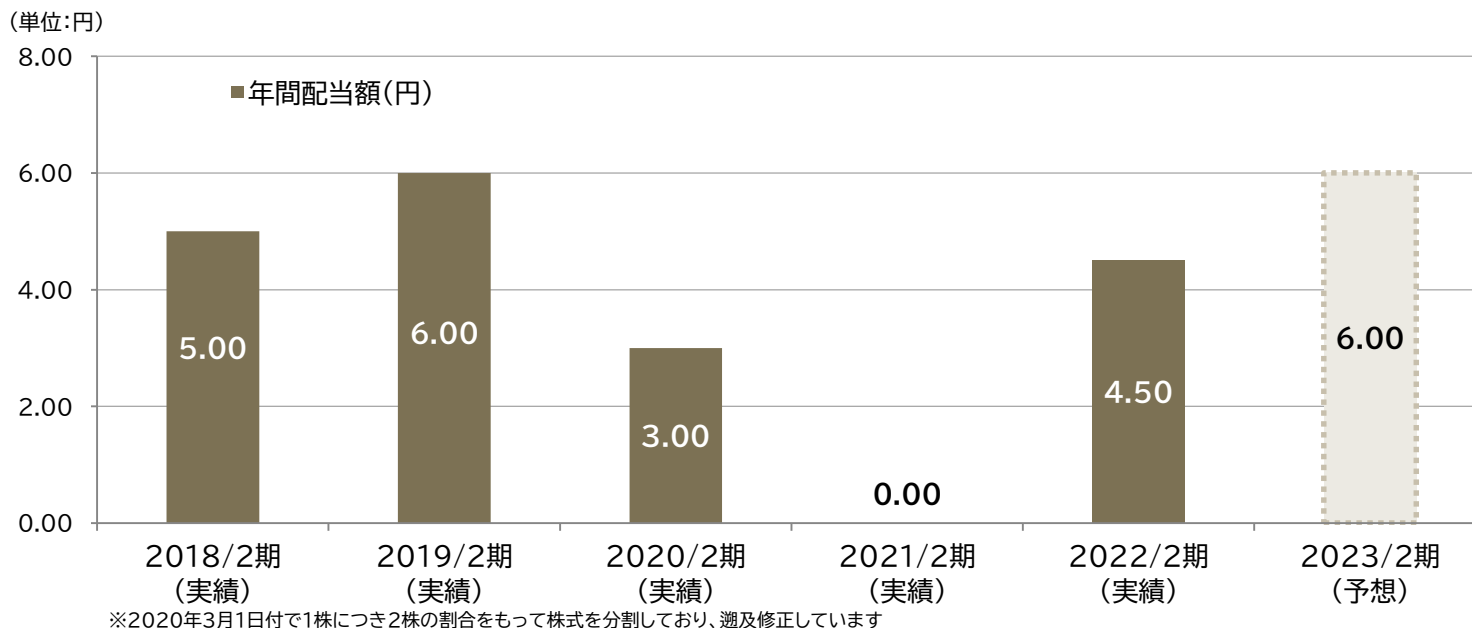
※カテゴリーCF=営業利益(日本基準)+減価償却費+のれん償却費+協賛金収入+非経常的費用項目+期間対応収益項目(雇用調整助成金及び協力金等)

※その他調整等は、IFRS16号適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等であります

6. 株主還元について ※再掲:2022年4月14日開示済み内容から変更なし

配当

✓2023年2月期の配当予想は、中間・期末それぞれ3.00円の年額6.00円



株主優待制度

企業方針として、重要な株主還元策と位置づけ、今後も継続して実施

✓有効期限の延長

- ①2021年11月30日までの有効期限(券面:紫色)
- ②2022年5月31日までの有効期限(券面:黄緑色)

2022年8月31日まで延長



※券面の記載が、2021年11月30日有効期限(2021年5月送付分)及び2022年5月31日有効期限(2021年11月送付分)の株主様ご優待券が対象

ご注意

本資料は、2023年2月期第1四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料に記載した内容は、資料作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、その情報の正確性、完全性を保障または約束するものではなく、予告なしに変更される可能性があります。

《IRに関するお問い合わせ先》

IR部

8022@createrestaurants.com